



開二小だより

Vol. 239

第8号

令和4年12月1日発行

練馬区立開進第二小学校

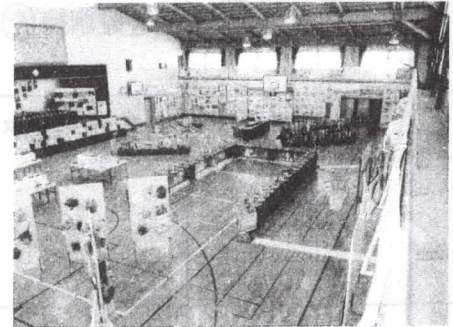
校長 椿田 克之

www.kaishin2-e.nerima-ky.ed.jp

自分のこととして考える子供たち

校長 椿田 克之

感染症対策として時間の制限をさせていただきました先週末の展覧会。多くの保護者や地域の方々にご来校いただき、ありがとうございました。展覧会では、題名を決めて作品を作ったり文字の形や意味を生かして絵を描き上げたりして、工夫した作品をご覧いただけたことと思います。作品のタイトルやアルミで作った人形のポーズなど豊かな想像力と思ってもよらない発想力を子供たちの作品から感じることができました。開二小の子供たちは、いつも素直で明るく、真剣に全力で取り組む素晴らしい子供たちです。



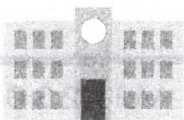
このようなことがありました。5年生の移動教室の朝ごはんの時です。子供たちの食事の様子を見て歩いていた時、一番隅に座っている子が食べ終わって静かに待っていました。近づいて、その子にしか聞こえないくらいの小声で「もう、食べ終わったの?」と聞くと「はい」と答えました。「からのヨーグルトのカップにビニール袋などを入れておくと片づけが楽になるよ」とその子に言った瞬間、隣の子がそれを見て同じことをし始めました。するとその向かいの子もだまってカップに、またそれを見ていた隣の子も…。と数秒で隅から一気にカップへの片づけが広がりました。

また別の場面です。6年生がタブレットPCを使って英語の技能検定を受けました。廊下がわの一番前に座っていた子が、準備のためにマイク付きヘッドフォンを袋から取り出し、小さな袋に入っているスポンジをマイクに付け終わっていました。「その袋に小さな袋を入れておくといいよ」とその子に言った瞬間、隣の子がそれを見て同じことをし始めました。するとまた隣の子が…。と数秒で窓がわの子まで一気に袋の片づけが広がりました。

私が担任をしていたころ、同じことを複数の子に注意したことがあります。「さっきあの子に同じことを注意したのを聞いていた?」と聞くと、「自分に言われていないから聞いていなかった」と子供はよく答えていました。「他の人のことを自分のこととして考える」。注意されることでなくても、他の人が話していることを聞き流すことは普通にあります。また善いことは真似をしようとはしますが、意識していないと善いことであることに気付かないことも普通にあります。しかし開二小の子供たちは、耳に入ってきたことを聞き流さずに、自分のことと受け止めて考え、確認しています。「聞く力」が優れているのか、「情報処理能力」が高いのか、「自己点検」を常に意識しているのか。とにかく、素直で明るく全力で取り組む子供たちの優れた力をさらに伸ばせるよう、これからもよりよい学校づくりに努めてまいります。

個人面談が始まります。

12月に担任による個人面談が始まります。本校では個人面談の充実を図ることとし、2学期末の通知表の所見の記載をなくしました。教職員の働き方改革も兼ねておりますが、その分個人面談でお子様の学校での学習や生活の様子をしっかりと伝えてまいります。ご理解の程、よろしく願いいたします。



12月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1 読書 安全指導 長縄旬間(始) ふれあいタイム	2 体育朝会 校外学習(あ)	3
4	5 朝会 委員会活動	6 クラス 水曜時程 避難訓練(全)	7 朝学習 4時間授業 個人面談(全) 保護者会(あ)	8 読書 水曜時程 4時間授業 個人面談(全) なかよしの日	9 児童集会 4時間授業 水曜時程 個人面談(全)	10 ユニセフ集会 学校公開 水曜日の時間割
11	12 朝会 クラブ	13 クラス	14 朝学習 4時間授業 個人面談(全)	15 読書 水曜時程 4時間授業 個人面談(全)	16 クラス	17
18	19 朝会 委員会活動	20 体育朝会 美化の日 長縄旬間(終)	21 朝学習	22 読書 給食(終) 大掃除(全)	23 終業式 午前授業	24 冬季休業日(始)
25	26	27	28	29	30	31
①②③④⑤⑥は学年です。 あはあおぎり学級です。						

体力テスト考察

体育部

今年度の体力テストは、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、種目を絞って実施しました。「長座体前屈」「50メートル走」は区や都、全国平均とほぼ等しい結果となりました。しかし、「20メートルシャトルラン」「反復横跳び」に関して、平均を大きく下回っています。

新型コロナウイルス感染症により体を動かす機会が減っていることが考えられますが、体力向上には、継続的に運動をすることが大切です。子供たちの「運動の日常化」を目指し、是非、ご家庭でも運動する機会を増やしていただくと幸いです。

人権月間について

生活指導部

人権は、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」であり、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらにもっている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。12月は、人権月間です。自分の言動を振り返り、自分ごととして考える機会につなげ、安心安全な学校を目指していきたいと思ひます。